

目標達成計画

作成日: 平成25年 3月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 現状では、職員の参加率が低く見られている為、外部の方からの意見等を直に聞く機会が少なく、入居者代表の参加も少ないため、積極的な意見をもう少し出せていただけるとはでないか。	職員・入居者代表の参加率をあげ、積極的な意見の交換の場とする。	勤務作成時より、運営推進会議の日程に合わせて、調整を行う。また、入居者の方への運営推進会議の理解を深め、積極的な参加を募る。	12ヶ月
2	26	○チームで作る介護計画とモニタリング 利用者に対して担当制を行っているが、ご家族とのコミュニケーションを図る機会がすくないため、それぞれの意見やアイデアを直に聞く機会が少ない。	利用者、ご家族、職員の積極的な触れ合い、情報の共有。	和庵において、1月1行事を実施している為、ご家族も積極的に参加できるような取り組みを行い、情報交換が行われる場の提供。	12ヶ月
3	13	○職員を育てる取り組み 法人、事業所、外部研修などの機会を確保し、職員の育成に努めているが、今後は医学的知識に基づく認知症ケアを実践する為、積極的な知識と技術の向上が求められる。	正しい認知症の理解、認知症の医学的知識の習得により、よりよい認知症ケアの実践に活かす。	法人、事業所内外の研修に参加する機会を確保する。事業所内研修においては、医学的知識の正しい理解を修得し、認知症のよりよいケアの実践を行う。	12ヶ月
4	35	○災害対策 定期的な災害用設備点検、避難訓練を行っているが、昨今の状況より、様々な状況に対応できる必要がある。	法人としての合同訓練に加え、事業所独自の訓練の計画・実施を行う。災害の種別に応じた具体的な対策、避難訓練、職員間の連携の構築をはかる。	法人の定期合同訓練に加え、事業所独自の災害対策を行う。様々な状況を想定し、具体的に実行に移すことのできる体制を構築する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。